

30億円のトンネル道路よりも国保や子育てを

ズバリ！  
選びましょう

ムダ使いを  
チェックし

# 市民の願いに応える党を

## 国保税1世帯1万円の引下げを



日本共産党の4議席で、これまで9年間、国保税率を据え置いてきましたが、国の増税政策のあおりで、負担は重くなり、市民生活を圧迫しています。日本共産党は、1世帯1万円の引下げをめざします。

## 今度は通院も 6歳まで無料化に

今年からは6歳までの医療費が、入院の1日目から無料になりますが、通院は7日目からです。今度は通院も1日目から無料に、1日200円の手数料負担もなくさせましょう。



乳幼児医療費の無料化は、子育て支援策の柱です。日本共産党はこれも20年以上前から県議会でも要求。それ以来、県でも野田市でも、女性団体などといっしょに運動に取り組み、ついに3年前、3歳になるまで、入通院とも窓口無料（200円の一部負担あり）にさせました。



「市営循環バス」も子どもの医療費無料化も  
二〇年以上前から提案し、住民とともに運動

日本共産党が、野田市ではじめに「市営循環バス」を提案したのは今から20年前。それ以来、粘り強く議会で取り上げ、署名運動も。とうとう2年前、「まめバス」として実現。市民の足として喜ばれています。

乳幼児医療費の無料化は、子育て

支援策の柱です。日本共産党はこれも20年以上

前から県議会でも要求。それ以来、県でも野田市で

も、女性団体などといっしょに運動に取り組み、

ついに3年前、3歳になるまで、入通院とも窓口

無料（200円の一部負担あり）にさせました。

## 公明党 反対？賛成？どっちなの？

公明党は、県民から出された子どもの医療費の無料化を求める請願に反対し続けていました。ところが知事が「やります」と言ったとたんに「賛成」へ。野田市議会でもこの3月議会で委員会では「反対」、本会議では「賛成」。本音はどちらでしょうか。

28日は野田の大切な選択の日

